日本哲学会・林基金「若手研究助成」成果報告書（採用期間 2020 年 4 月–2021 年 3 月）

キケロの政治哲学：その懐疑主義哲学と政治思想の関係

安田将

キケロ哲学の研究において（1）キケロの思想全体における哲学の位置づけ、ならびに（2）キケロ哲学における懐疑主義的な傾向の位置づけが基本的に問題となる。

本研究は、論点（2）における 1990 年代以来の研究動向を（最近に生じた新たな傾向に対する批判を通じて擁護しつつ）展開する作業を締め括った（別の部分を採用期間前に行っていた）。それにより論点（1）に取り組むための準備を終えた。

Görler らの包括的研究[1]以来、論点（2）について蓋然的判断を肯定する立場（建設的懐疑主義）をキケロが一貫して保持しているとする見方がとられてきた。しかし最近は、論点（1）について、とりわけ政治思想と認識論の関連性の問題意識のもとに、判断停止を徹底する立場（根本的懐疑主義）の政治思想的含意を探る解釈が現れている[2]。

本研究では、（i）キケロの懐疑主義の種類を知るために『アカデミカ』をはじめとする論理学・認識論・修辞学的著作を分析するとともに、（ii）キケロの政治哲学の特徴を知るために『国家について』における先行ギリシア哲学（特にプラトン『国家』の国家論）の受容および逸脱を論じた。

研究（i）[3]において、「みずからへの現れ」を真理とは無関係に行為の規準とするような、たんに主観的にすぎない説得性の考えを、キケロがギリシアのアカデメイア派に帰しているとする解釈を批判し、むしろ問答法によって蓋然的な判断を模索する考えを帰していると論じた。

研究（ii）[4]において、知恵と権力の合致というプラトン的理想をキケロが共有しており、その理想の次善的近似物として『国家について』における最善の国制（混合政体）が提示されているとする解釈を批判し、むしろ知恵と権力の合致をキケロは斥けており、両者の独立的な協力関係を別の理想として提示していると論じた。

以上の研究（i）・（ii）は次の二点を告げている。知恵が有する（権力とは異なる）権威の、人々の自由な判断を原理的に要請するという特徴が、上記の独自の政治思想的理想にとって必要だとキケロは考えている。ところでアカデメイア派の懐疑主義哲学にも、キケロは自由の価値を帰している。教義にしばられず自分の言葉で考えて蓋然的な判断を下す主体性としての自由である。

こうして、Görler らの先述の包括的研究では萌芽的にとどまった論点（1）に取り組むための問いを立てることが可能になった。キケロの政治思想にとって（建設的）懐疑主義はいかなる意味をもつのか、である。キケロの思想には言語論・美学をはじめとして多彩な面がある。そのなかでの哲学の位置づけを解明するために、政治思想と哲学の関係が取りかかりになると考えている。

---

[1] Gawlick, G. & W. Görler 1994, ‘Cicero’, in Flashar, H. ed., *Die Philosophie der Antike. Bd.4 Die hellenistische Philosophie*, Basel: Schwabe, pp. 991–1168.

[2] 以下でこの方向に対して批判的に言及している。Yasuda, M. 2021, ‘[Book review] Orazio Cappello, *The School of Doubt: Skepticism, History and Politics in Cicero’s Academica*, Brill, Leiden-Boston 2019’, *Rivista di storia della filosofia*, 76, 389–391.

[3] 安田将,「『アカデミカ』におけるキケロの懐疑主義」（『古代哲学研究（*METHODOS*）』, 53 号, 31–53 頁, 2021 年）。本稿は第 53 回古代哲学会談話会（2021 年 8 月 7 日, キャンパスプラザ京都＋オンライン）で発表され、質疑への応答を行った。また研究（i）に関して「キケロの哲学的方法論———問答法と理性の本性」を準備した（未投稿）。

[4] 安田将,「キケロの哲学的国家論———『国家について』における国制論の論理」（『西洋古典学研究』, 69 号, 2022 年（近刊））。本稿は日本西洋古典学会第 71 回大会（2021 年 6 月 6 日, オンライン）における発表にもとづく。また同著作については新たな校訂本における提案を擁護する発表も行った（「キケロ『国家について』第 3 巻序文——Powell 案の擁護」, 古典文献学研究会第 19 回研究集会（2020 年 10 月 10 日, オンライン）（未投稿）。